

山中哲男氏がiUの教授に就任 2025年度からプロジェクトを推進

iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）は、事業創造家の山中哲男氏が2025年度から正教授に就任することを決定しました。

iUは「プロジェクト教授」と称する非常勤の正教授ポジションを創設します。学生や客員教員・研究員が参加するゼミを開設することを通じて産学連携プロジェクトを率います。2025年度までに総勢10名程度のプロジェクト教授を採用する計画です。

山中哲男氏はその1名です（面白法人カヤックCEOの柳澤大輔氏、起業家・国際社会文化学者のカンハンナ氏、博報堂の堂上研氏、俳優・研究者のいとうまい子氏の就任も決定しています）。

■ 山中哲男氏 プロフィール



株式会社トイトマ代表取締役社長
バルニバービ、グリーンエナジー &カンパニー、ダイブ、ヒューマンライフコード社外取締役
大阪・関西万博2025事業化支援プロジェクトチーム・サブリーダー
うめきた2期プロジェクト「VS.」戦略アドバイザー
経済産業省I-OPEN有識者委員など委員を多数歴任
事業開発の専門家として、医療、金融、不動産、飲食、宇宙、IT、人材、ヘルスケア、物流、ものづくり、行政プロジェクトなど様々な分野で事業創造に携わる

■ 担当プロジェクト「付加価値学」

生産人口の減少が進む中、大企業から中小企業まで規模、業界、地域を問わず全ての企業が取り組むべきは付加価値の創造です。当プロジェクトでは付加価値に焦点をあて、サービスやプロダクトの価値を最大化させていきます。特に日本らしさの再定義をすることで、国内だけでなくグローバル視点での価値創造を行います。誰にとっての価値なのか？を問い、顕在的な顧客ニーズだけでなく、潜在的ニーズにも向き合うことで合理性や効率性を越えた価値を生み出していきます。

■ 山中哲男氏のコメント

様々な情報にアクセスできる現代社会において、どれだけ素晴らしいモノやサービスがあっても選ばれる必要があります。そして、適切に収益を得ていないと働く環境の悪化、働く人の低賃金化、取引先への値下げ交渉、未来へ投資ができない状況が起こり、持続可能な取り組みではなくなってしまいます。日本には素晴らしい技術、ノウハウ、サービスがあるので、それらの価値の可視化をすること、その価値を探求しながら“付加価値”を生み出していくことができれば持続可能な経済循環を創りだせます。価値創造の観点から向き合うことで適切に稼ぐエンジンをもった事業やプロジェクトを一緒に生み出していきます。

■ iU 中村伊知哉学長のコメント



事業創造の天才、山中哲男さん。ヤバいひとです。ぼくより20歳ぐらい若いですが、各地の大型プロジェクトを企画・実装し、ニコニコしながらガンガン成功に導いています。

経産省・観光庁など政府からも引っ張りだこ。iUでは、人口減少に付加価値の創造で対応するという巨大スケールのプロジェクトを立てるという。著書『相談する力』は、つながる力、コミュニケーション、そして創ることを説きます。大きい世界を、つながって、創ってまいりましょう。

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数42、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。連携企業800社、客員教員1000人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等86プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う「eスポーツコース」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■学長



京都大学特任教授、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：698名 ・専任教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■ 学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

① 論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

② 情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③ 国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート
- ・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp